

平成11年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成11年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成12年7月5日(水)～7月6日(木)にザ・グリーンフレイヤー・ウェスト・ヴィレッジにおいて開催された。
この検討会には、試験場関係者28名、委託関係者

53名ほか、計87名の参集を得て、除草剤33薬剤(335点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成11年度 春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除 草 剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. AC-414 水和剤 (ダブリアップ) シロシムファミロン 10% [日本サイナミッド]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[一年生広葉雑草] H10秋→H11春→H11秋→H12春 雑草発生前 0.4 g<200-250> ; 土壌処理 ; AC-414水和 0.4 g<200-250>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前～発生初期 (広葉雑草3葉期まで)。 ・ 0.2～0.4g<200～250ml>。 ・ 土壌処理または茎葉処理。 継) ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コライシバ	適用性 継 続 (10年 度)	植調研究所 (1)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4 g<200-250> ; イソアル水和剤0.3 g<200-250> ; 土壌処理		
2. DAA-982 顆粒水和剤 エキシルロン 10% ジチオビル 20% [大日本インキ 化学工業]	コライシバ	適用性 新 規	植調研究所、 那須ナセリ、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 広葉雑草発生前 0.1, 0.15, 0.2 g<200-300> ; 土壌処理 ; プロパ・ビ・水和 0.1 g<200-300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認。
	ノシバ	適用性 新 規	植調岩手、 那須ナセリ、 東日本G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
3. DAH-981 水和剤 ジチオビル 40% (製剤変更)	コライシバ	適用性 継 続	ブラッサム・デ・ン、 佐野GC、 新沼津CC、 中国G連G研、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1, 0.15, 0.2 g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.2ml<200-300> プロパ・ビ・水和 0.2 g<200-300>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.1～0.2g<200～300ml> ・ 土壌処理。 継) ・ プル・グラスでの効果、薬害の確 認、連用試験での確認。
	ノシバ	適用性 継 続	ブラッサム・デ・ン、 佐野GC、 南長野GC、 中国G連G研、 佐賀CC (5)			
	プル・ グラス	適用性 新 規	札幌後楽園CC、 グリーンフレイヤー、 東日本現地 (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.05, 0.075, 0.1 g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳剤 0.1ml<200-300> プロパ・ビ・水和 0.1 g<200-300>		
	コライシバ ・ノシバ	実 証	美浦GC、 奥武蔵CC、 門司GC (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.15g<200-300> ; 土壌処理 ; デイクトラン乳 0.2ml<200-300>		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 : 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
4. DEH-115 ゾル剤 (ブロードスマッシュSC) Florasulam 5% [タウケミカル日本]	コライシバ	実 証	奥武蔵CC, 門司GC (2)	[広葉雑草] 雑草発生初期 0.04ml<150> ; 土壌処理	実 ・ 継	前年通り 実) [(コライシバ、ノシバ、ブルグラス) 広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生初期 (3葉期まで). ・ 一年生広葉雑草; 0.02~0.04ml<150~200ml>、 多年生広葉雑草; 0.04~0.08ml<150~200ml>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 多年生広葉雑草の効果確認.
	ノシバ	実 証	今治CC, 門司GC			
5. DH-81 粒剤 ジチピル 0.16% [大日本イネ 化学工業]	コライシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研, 西日本G研 (2)	[一年生イネ科雑草] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 25 g ; 土壌処理 ; デイクトラン乳 0.15ml<200~300>	実	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生イ ネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 15~25g. ・ 土壌処理.
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研, 西日本G研 (2)			
6. DTH-85 水和剤 (クワイド) テニクロール 50% [トヤマ、大日本イネ 化学工業]	コライシバ (養成 芝)	適用性 継 続	茨城農総園研, 兵庫農技, 鳥取園試 (3)	[一年生イネ科雑草] (詳細は別途協議) 雑草発生前 0.1, 0.2, 0.3 g<200~300> ; 土壌処理 ; 一任(ランイ乳 1.2ml <200~300>)	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生イ ネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前; 0.3~0.5g<200~300ml>. ・ 芝収穫後、雑草発生前; 0.2~0.3g<200~300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ 実証試験での確認.
7. ELH-201 粒剤 イソキサベン トリフルリン 0.5% 2% [タウケミカル日本]	コライシバ	適用性 継 続	江戸崎CC, リハ-富士CC, 南愛知CC, 久山CC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 4, 6, 8g ; 土壌処理 ; パナフィン粒 16g	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 6~8g. ・ 土壌処理. 継) ・ 低薬量(4g)での効果の確認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 継 続	美野里GC, 甲府国際CC, 今治CC, 宮崎CC (4)			
8. ESH-01 顆粒水和剤 (ベネフィス 顆粒水和剤) ベスロジン 58% [住友商事]	コライシバ ・ノシバ	適用性 継 続	那須ナセリ、 奥武蔵CC、 関西G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)		実 ・ 継	前年通り 実) [(コライシバ、ノシバ)一年生イ ネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.5~0.7g<200~300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ 製剤の安定性について.
		実 証 (10年 度)	植調研究所 (1)			

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
9. HOK-9801 水和剤 イキサベン テニクロール 〔トクマ、 北興化学工業〕	コウライバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 中国G連G研 (2)	〔一年生雑草〕 H11秋→H12春→H12秋→H13春 雑草発生前 0.4 g<200> ; 土壌処理	実・ 継	実) 〔コウライバ、ノシバ〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.2～0.4g<200ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ ノシバでの年次変動の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 実証試験での確認。
5% 50%	ノシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コウライバ	適用性 継 続	東日本現地、 小杉CC、 東日本G研、 大阪農技、 中国G連G研 (5)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.2、0.3、0.4 g<200> ; 土壌処理 ; 0.2g 0.2 g<200>		
	ノシバ	適用性 新 規	東日本現地、 小杉CC、 茨城農総園研、 東日本G研、 中国G連G研 (5)			
10. HSA-953 顆粒水和剤 エトキシルフロン 60% 〔大日本インキ 化学工業〕	コウライバ	適用性 継 続	ブラッサムガ'ーデン、 ウイング' F GC、 総武CC、 浜松シーサイド' GC、 中国G連G研、 宮崎CC (6)	〔一年生広葉雑草〕 雑草発生前 0.015、0.0225、0.03 g <200-300> ; 土壌処理 ; タザイン水和 0.04 g<200-300>	実・ 継	実) 〔コウライバ、ノシバ、ベントグラス、 ブルグラス〕広葉雑草〕 ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前初期(3葉期まで)。 ・ 0.03～0.06g<200～300ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ 発生前処理での効果の確認。
	ノシバ	適用性 継 続	ブラッサムガ'ーデン、 グリーンブライヤ、 ウイング' F GC、 リバ'富士CC、 中国G連G研、 宮崎CC (6)			
	ベント グラス	適用性 継 続	総武CC、 大月CC、 南愛知CC、 花屋敷GC、 中国G連G研 (5)			
	ブル グラス	適用性 継 続	廣済堂札幌CC、 札幌不二ロイヤルGC、 札幌芙蓉CC、 グリーンブライヤ、 東日本現地 (5)			
	ライグラス	適用性 新 規	廣済堂札幌CC、 東蔵王GC、 泉バ'ク'ク'、 祁答院GC (4)			
	コウライバ	適用性 新 規	江戸崎CC、 リバ'富士CC、 桑名CC、 タイガ'スGC、 久山CC (5)	〔一年生雑草〕 雑草発生前 0.04、0.05、0.06 g<200-300> ; 土壌処理 ; 1'デ'トップ'フロア'ブル 0.1ml<200-300>		
11. IDH-1105 顆粒水和剤 トリアンフラム 60% 〔出光興産〕	ノシバ	適用性 新 規	江戸崎CC、 リバ'富士CC、 桑名CC、 タイガ'スGC、 久山CC (5)		実・ 継	実) 〔コウライバ、ノシバ〕一年生雑 草〕 ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.04～0.06g<200～300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 実証試験での確認。
	コウライバ	適用性 新 規	江戸崎CC、 リバ'富士CC、 桑名CC、 タイガ'スGC、 久山CC (5)			

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量 g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
12. JT-101 乳 剤 (グランドリコ) ペラルゴン酸 52% [日本たばこ産業]	ノハ	実 証 (10年 度)	中国G連G研 (1)	[ス'メノカタビ'ラ, 広葉雑草] 芝休眠期 5ml<200> ; 茎葉処理 ; -	実	・前回判定済.
13. KUH-999 顆粒水和剤 カフェストロール 50% メシム 15% [理研グリーン, クミア化学工業]	コライシバ	適用性 新 規	植調研究所, 宇都宮大学, 東日本G研, 中国G連G研, 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; レンザ-水和 0.2 g<200-300>	継	継) ・効果、薬害の確認.
	コライシバ	適用性 新 規	植調研究所, 宇都宮大学, 東日本G研, 中国G連G研, 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ②雑草発生初期 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; レンザ-水和 0.2 g<200-300>		
	ノハ	適用性 新 規	植調研究所, 宇都宮大学, 東日本G研, 中国G連G研, 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; レンザ-水和 0.2 g<200-300>		
	ノハ	適用性 新 規	植調研究所, 宇都宮大学, 東日本G研, 中国G連G研, 西日本G研 (5)	[一年生雑草] ②雑草発生初期 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; レンザ-水和 0.2 g<200-300>		
14. MAC-1 フロアブル剤 ケミロン 45% [丸紅]	ベント グラス (倍量)	作用性 継 続	東日本G研, 中国G連G研 (2)	[一年生イネ科雑草, 一年生カタリグサ科雑草] ス'メノカタビ'ラ発生前 2ml<300> 4 <600> 8 <1200> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(ベントグラス, ブルグラス) ス'メ ノカタビ'ラ] ・芝生育期(秋)、 ス'メノカタビ'ラ発生前. ・1~2ml<200~300ml>. ・土壌処理. 継) ・連用試験の継続. ・実証試験での確認.
	ブル グラス (倍量)	作用性 継 続	<植調研究所> 那須ナ-セリ- (2)			
	ベント グラス (連用)	作用性 継 続	那須ナ-セリ- (1)	[一年生イネ科雑草, 一年生カタリグサ科雑草] H11春→H11秋→H12春→H12秋 ス'メノカタビ'ラ発生前 2ml<300> ; 土壌処理 (H11春は1mlで実施)		
	ブル グラス (連用)	作用性 継 続	植調研北海道, 那須ナ-セリ- (2)			
	ベント グラス	適用性 継 続	泉パ-クワン, 東日本現地, 総武CC, 大月CC, 南愛知CC, 琵琶湖CC, 祁答院GC (7)	[一年生イネ科雑草, 一年生カタリグサ科雑草] ス'メノカタビ'ラ発生前 1.0, 1.5, 2.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; イゲン水和 1.5 g<200-300>		
	ブル グラス	適用性 継 続	廣済堂札幌CC, 札幌芙蓉CC, グリーンライク, 東日本現地 (4)			
		適用性 新 規 (10年 度)	札幌後楽園CC, 植調研究所 (2)	[一年生雑草, 多年生イネ科雑草] ス'メノカタビ'ラ発生前 1.0, 1.5, 2.0ml<200-300> ; 土壌処理 ; イゲン水和剤 1.5g<200-300>		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草:ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
15. MBH-98 水和剤 イソキサベン 30% オキサジアルギル 30% [丸和バ イケミカル]	コライシバ	適用性 継 続	植調研究所、 東日本G研、 関西G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.075, 0.1, 0.15g<200-300> ; 土壌処理 ; バナフィンロ 0.6 g<200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ)一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.075~0.15g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
16. NC-341 水和剤 (ブラスコンM) MCPイソプロピルアミン塩 40% [日産化学工業]	ブル グラス	適用性 継 続 (10年 度)	泉ハク・クワンGC (1)	[広葉雑草] 雑草生育期 0.75, 1.0, 1.5 g<200> ; 茎葉処理 ; 一任	実	・ 前回判定済。
17. NC-380 顆粒水和剤 (セトアップ DF) トリアジフラム 30% ハロスルフロメチル 30% [出光興産、 日産化学工業]	コライシバ ・ノシバ	実 証	<美浦GC>、 門司GC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.1 g<200-300> ; 土壌処理 ; イデトップフロアブル 0.1ml<200-300>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 0.075~0.15g<200~300ml>。 ・ 土壌処理。 継) ・ 連用試験での確認。
18. NOJ-120 顆粒水和剤 新規化合物 75% (つづく)	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] ①雑草発生前(3葉まで) 0.002, 0.004, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーザン80SG 0.25 g<200-250>	継 継)	・ 成分未公開。 ・ 効果、薬害の確認。
	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] ②雑草生育期(5葉程度) 0.002, 0.004, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーザン80SG 0.25 g<200-250>		
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] ①雑草発生前(3葉まで) 0.002, 0.004, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーザン80SG 0.25 g<200-250>		
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	植調研究所、 宇都宮大学 (2)	[一年生雑草] ②雑草生育期(5葉程度) 0.002, 0.004, 0.006 g <200-250> ; 茎葉処理 ; アーザン80SG 0.25 g<200-250>		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 〔対象雑草;ねらい〕 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
18. NOJ-120 顆粒水和剤 (つづき)	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、 東日本G研、 東広野GC、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	〔一年生雑草〕 ①雑草発生初期(3葉まで) 0.003, 0.0045, 0.006 g 		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
20. RGH-941 フロアブル剤 (つづき)	コライシバ	適用性 新 規	東日本現地、 佐野GC、 新沼津CC、 花屋敷GC、 佐賀CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.6, 0.8, 1.0 g<200-300> ; 土壌処理 ; ランレイ乳 1.2ml<300> (余裕があれば ハブ・ン乳 0.8ml<300>も実施)		
	ノハ	適用性 新 規	東日本現地、 江戸崎CC、 南長野GC、 花屋敷GC、 佐賀CC (5)			
	[理研グリーン]	ブルー グラス	適用性 新 規	札幌不二ロイヤルGC、 札幌芙蓉CC、 グリーンブライヤー (3)		
21. RH-315N 水和剤 (クサコ・ン水和剤)	コライシバ (連用)	作用性 継 続	那須ナ・セリ、 東日本G研 (2)	[一年生雑草] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; RH-315N水和 0.3 g<200-300>	実・ 継	実[(コライシバ)一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前～雑草発生初期 (3葉期まで)、 ・ 0.15～0.3g<200～300ml>、 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ハロスルフロ メチルプロピ ザミド 10% 40%	作用性 (連用) 継 続	那須ナ・セリ、 東日本G研 (2)			
22. RYH-105 フロアブル剤 (フルハウスフロアブル) オキサジクロメホン 30%	コライシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[一年生イネ科雑草] H10秋→H11春→H11秋→H12春 雑草発生前 0.2ml<200-300> ; 土壌処理 ; RYH-105フロアブル 0.2ml<250>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノハ)一年生イ ネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 ・ 0.075～0.15g<200～300ml>、 ・ 土壌処理。 継) ・ 低薬量での効果の確認。 ・ 連用試験の継続。 ・ 倍量薬害試験での確認。
	コライシバ	適用性 継 続	ブラッサムガーデン、 東日本G研、 関西G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
	ノハ	適用性 継 続	ブラッサムガーデン、 東日本G研、 関西G研、 中国G連G研、 西日本G研 (5)			
[アベントリス クロップ サイエンス ジャパン]			(5)			

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 : 薬量g・ml<水量ml>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
23. SB-5521 顆粒水和剤 ベンディメタリン 53% [エス・デー・イー・エス バイオテック]	コライシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所, 西日本G研 (2)	[一年生雑草(雑科を除く)] 雑草発生前 1.2g<500>, 2.4<1000> ; 土壌処理 ; SB-5521 0.6 g<250>は適用性 試験区と併用	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草(雑科を除く)] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 ・ 0.3~0.6g<200~250ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ 年次変動の確認. ・ 連用試験の継続. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所, 西日本G研 (2)			
	コライシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所, 西日本G研 (2)			
	ノシバ (連用)	作用性 新 規	植調研究所, 西日本G研 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	小杉CC、ウイングFGC、 植調研究所、 奥武蔵CC、 東日本G研、 浜松シサイドGC、 南愛知CC、 中国G連G研、 西日本G研 (9)			
24. SW-981 水和剤 エトキシメフロン 8% カフェンストロール 50% [三共]	コライシバ	適用性 新 規	美野里GC、 新沼津CC、桑名CC、 南愛知CC、 タイガースGC (5)	[一年生雑草 及び多年生広葉雑草] 雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4 g<200-300> ; 土壌処理 ; プローホ・ビー・水和 0.2 g <200-300>	継	継) ・ 効果、薬害の確認.
	ノシバ	適用性 新 規	茨城農総園研、 美野里GC、 新沼津CC、 甲府国際CC、 タイガースGC (5)			
25. SW-989① 液剤 エンドタル2カリウム塩 2.11% (エンドタル酸として 1.50%) [三共]	シバ	作用性 継 続 (殺草 薬齢 限界)	植調研究所 (1)	[スズメノカタビラ] 詳細は一任	実・ 継	実) [(コライシバ、ブルグラス)スズメ ノカタビラ] ・ コライシバ休眠期、 ブルグラス生育期(秋冬)、 スズメノカタビラ生育期. ・ コライシバ ; 8~12ml<200ml>、 ブルグラス ; 2~6ml<200ml>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	コライシバ	適用性 継 続	ブラッサムガーデン、 美浦GC (2)	[スズメノカタビラ] 芝休眠期、 雑草生育初期~生育期 8, 10, 12ml<200(展着剤加用)> ; 茎葉処理 ; エンドタル(Na塩)液 10ml<200(展着剤加用)>		
	ブル グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 グリーンブライヤ (2)	[スズメノカタビラ] 芝生育期、 雑草生育初期~生育期 2, 4, 6ml<200(展着剤加用)> ; 茎葉処理 ; エンドタル(Na塩)液 4ml<200(展着剤加用)>		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
26. SW-989㉔ 粒剤 インドター-#2カリウム塩 3.54% (インドター酸として 2.50%) [三共]	コライシバ	適用性 新 規	東日本現地、 美野里GC、 東日本G研、 大阪農技、 宮崎CC (5)	[スズメノカタビラ] 芝休眠期、 雑草生育初期～生育期 7, 15 g ; 土壌処理 ; インドター-#25 (Na塩) 粒 7 g	実・ 継	実) [(フール-グラス、フェスク)スズメノカタビラ] ・ 芝生育期(秋冬)、 スズメノカタビラ生育期。 ・ 5～10g。 ・ 土壌処理。 継) ・ コライシバでの効果、薬害の確認。 ・ 倍量薬害試験での確認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	ブル- グラス	適用性 継 続	札幌国際CC、 札幌後楽園CC、 グリーンフライヤー (3)	[スズメノカタビラ] 芝生育期 雑草生育初期～生育期 5, 10g ; 土壌処理 ; インドター-#25 (Na塩) 粒 5 g (フール-グラス、フェスク等の混播地での 実施可)		
	フェスク	適用性 継 続	札幌後楽園CC、 グリーンフライヤー (2)			
27. TG-02 粒剤 トリフルリン 0.67% ベスロジン 1.33% [東洋グリーン、 ダウ・ケミカル日本]	コライシバ (ノシバ)	適用性 継 続	東日本G研、 関西G研、 鳥取園試、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 10, 15, 20 g ; 土壌処理 ; バナフィン粒 16 g	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草(科を除く)] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 10～20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。
	コライシバ	実 証	東広野GC、 門司GC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 15 g ; 土壌処理		
28. TG-03 粒剤 オリザリン 1.0% ベスロジン 1.0% [東洋グリーン、 ダウ・ケミカル日本]	コライシバ (ノシバ)	適用性 継 続	東日本G研、 関西G研、 鳥取園試、 中国G連G研、 西日本G研 (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 10, 15, 20g ; 土壌処理 ; バナフィン粒 16g	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 草(科を除く)] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・ 10～20g。 ・ 土壌処理。 継) ・ 倍量薬害試験での確認。
	コライシバ	実 証	東広野GC、 門司GC (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 15 g ; 土壌処理		
29. TH-913H4 フロアブル剤 (倍量) イマズスルホン 40% (製剤変更) [武田薬品工業]	ブル- グラス	作用性 新 規	植調研北海道、 東日本G研 (2)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前(3葉期まで) 0.1, 0.2ml<300>、 0.4 <600>、 0.8 <1200> ; 茎葉処理 ; シバタイフロアブル 0.464, 0.929ml<300>	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ブル-グ ラス)一年生広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前(3葉期まで)。 ・ 0.1～0.2ml<200～300ml>。 ・ 茎葉処理。 継) ・ ブル-グラスでの年次変動の確 認。 ・ 連用試験での確認。 ・ 実証試験での確認。
	コライシバ	適用性 継 続	東蔵王GC、 東日本G研、 中国G連G研 (3)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前(3葉期まで) 0.1, 0.15, 0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; イソプロパノール水和 0.3 g<200-300>		
	ノシバ	適用性 継 続	東蔵王GC、 東日本G研、 中国G連G研 (3)			
	ブル- グラス	適用性 新 規	札幌不二ロイヤルGC、 札幌芙蓉CC、 グリーンフライヤー、 那須ナースリー (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前(3葉期まで) 0.1, 0.15, 0.2ml<200-300> ; 茎葉処理 ; シバタイフロアブル 0.464, 0.929ml<300>		

A. 除 草 剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
30. TT-9 乳 剤 既知化合物 60%	コライシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 0.4, 0.8, 1.6ml<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイファッ プロファッ 0.4ml<200-300>	継	・成分未公開。 ・効果、薬害の確認。
	ノシバ (効果・ 薬害)	作用性 新 規	東日本G研、 中国G連G研 (2)			
	コライシバ	適用性 新 規	植調研究所、 那須ナ-セリ、 奥武蔵CC、 大阪農技、 兵庫農技 (5)	[一年生イネ科雑草] 雑草発生前 0.4, 0.6, 0.8ml<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイファッ プロファッ 0.4ml<200-300>		
[トキヤマ、トメン]	ノシバ	適用性 新 規	植調研究所、 那須ナ-セリ、 奥武蔵CC、 花屋敷CC、 西日本G研 (5)			
31. YH-592 水和剤 カフェンストロル シスルフロ 60% シスルフロ 5%	コライシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.3 g<300>、 0.6 <600>、 1.2 <1200> ; 土壌処理	実・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑 草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.2~0.3g <200~300ml>。 ・土壌処理。 継) ・年次変動の確認。 ・実証試験での確認。
	ノシバ (倍量)	作用性 継 続	植調研究所、 西日本G研 (2)			
	コライシバ (連用)	作用性 継 続	西日本G研 (1)	[一年生雑草] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; YH-592水和 0.3 g<200-300>		
	ノシバ (連用)	作用性 継 続	植調研究所 (1)			
	コライシバ	適用性 新 規	泉ハ-クタウン、 東日本現地、 奥武蔵CC、 兵庫農技、 久山CC (5)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2, 0.25, 0.3 g<200-300> ; 土壌処理 ; ウェイファッ プロファッ 0.4ml<200-300>		
[八洲化学工業]	ノシバ	適用性 新 規	泉ハ-クタウン、 奥武蔵CC、 大月CC、 南長野CC、 祁答院CC (5)			
32. ナブ ロハミト 顆粒水和剤 ナブ ロハミト 48% [ゼネ]	ノシバ	実 証	植調研究所 (1)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.6 g<200-300> ; 土壌処理 ; 一任	実	実) [(コライシバ、ノシバ) 一年生雑 草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・0.3~0.6g<200~300ml>。 ・土壌処理。
33. プ ロジ アミ 顆粒水和剤 (クザブ ロック) プ ロジ アミ 63% [ノバ リス アグロ]	ノシバ (連用)	作用性 継 続	東日本G研、 西日本G研 (2)	[一年生雑草] H10春→H10秋→H11春→H11秋 雑草発生前 0.12 g<250-300> ; 土壌処理 ; プ ロジ アミ顆粒水和 0.12 g<250-300>	実	実) [(コライシバ、ノシバ、ベントグ ラス(グーリンは除く)、ブルグ バミューダ-グーラス) 一年生雑草(キ 科を除く)] ・芝生育期(秋)、雑草発生前。 ・一年生雑草対象; 0.12~0.24g<200~250ml>、 一年生イネ科雑草対象; 0.08~0.1g<200~250ml>。 ・土壌処理。